

# 横浜市立大学母性看護学研究会 News Letter

Vol.3

2019.01



平成30年度 母性看護学領域

中村幸代（教授） 飯田真理子（准教授） 竹内翔子（講師） 佐藤いづみ（助教）

## 平成30年度卒業研究発表会の開催



### 卒業研究を終えて

卒論作成を通して、研究の方法だけでなく、助産院における助産ケアの方法など、多くの学びを得ることができました。この経験を生かし、これからも学んでいきたいです。  
(平成30年度母性ゼミ 小笠原風花さん)

平成30年12月11日に母性ゼミ生10名が下記のテーマで卒業研究論文の発表を行いました。

- ・フィリピン共和国における地方都市の妊婦の正常な出産に向けたセルフケア
- ・妊婦の体験を通して考えるマタニティマークの有用性
- ・妊娠期にある夫婦の親役割獲得に向けた夫婦関係構築のための助産師の関わり
- ・第2子出産において母親が複数の子どもと愛着を形成していくための助産師の関わり
- ・助産師の子ども立ち会い出産に対する認識
- ・出産に対する妊婦の不安を軽減するための助産所での助産師の関わり
- ・褥婦が抱く出産体験への否定的感情に対する助産師のバースレビューにおける関わり
- ・母親たちの母乳育児に対する希望を叶えるために助産師が行う関わり～産後1カ月以内のケアに焦点を当てて～
- ・高齢初産婦に対する母親としての適応を促すための産後ケア事業における助産師のかかわり
- ・フィリピン共和国の地方都市在住の母親が持つ育児に関する予防意識の実態

## 母性ゼミ卒業生より

母性ゼミでは卒業研究のことだけでなく将来の進路についても親身に相談に乗ってくださる先生方と、お互いの夢を語り合える仲間たちに出会うことができました。母性ゼミでの思い出を胸に、今ではNICUで小さな命と向き合っています。  
(H28年度卒 村松宏美さん)

私は名古屋市大の院で助産師になるための勉強をしています。資格を取るための勉強と学位を取るための授業や研究の両立は大変ですが、研究では横市母性ゼミで学んだ考え方につながり助けてもらっています。来年、中村先生に卒業の報告ができるよう、諦めずに頑張っていこうと思います。  
(H29年度卒 三國奈菜さん)

## 第1回合同勉強会を開催



2018年7月に第1回合同勉強会「研究を日々のケアに活かしてみよう！」を開催しました。附属2病院のスタッフや学生など、多くの方が参加してくださり、教員作りのお菓子を食べながら、活発なグループワークとなりました。

## 教員の研究活動

マニラで行われた国際学会（IACSC）や様々な国内学会において、各教員の研究発表やさくらサイエンスに関する実践報告を行いました。



2019年3月に実施される第33回日本助産学会学術集会でも、フィリピンFWに関する実践報告を2題発表予定です。

## Facebook始めました！

母性看護領域のFacebookを開設しました。研究活動だけでなく、母性看護学領域の様々な活動をタイムリーに紹介しています。ぜひ「いいね！」をお願いします！



★ 本学大学院へ進学をお考えの方は、いつでもお気軽にご相談ください！

## 【お願い】

登録メールアドレスの変更は、下記までご連絡ください。  
竹内：shoko@yokohama-cu.ac.jp